

鋼 橋 技 術 研 究 会

維 持 管 理 技 術 研 究 部 会

昭 和 6 3 年 度 報 告 書

平 成 元 年 3 月

まえがき

本研究部会では、昭和62年度に引き続いて、プレートガーター橋の疲労に着目した研究を行った。部会の運営に当っては、前年と同じく検査、耐荷力、補修の3ワーキンググループを構成して、各グループの自主的な会合で研究を進めてきた。

63年度は、検査グループの「鋼道路橋の合理的な維持管理検査についての提言」と、補修グループの「鋼橋の補修・補強方法」の2成果が得られ、ここに報告することとした。これら成果が広く有効に利用されることを、部会メンバー全員にかわって、ここでお願いしたい。

4年間の研究部会活動に多大な努力を払っていただいた各メンバーには、この場を借りて感謝の意を表すとともに、今後も鋼橋の維持管理技術の研究、開発、また鋼橋技術研究会活動への御協力をお願いする。

平成元年 6月

部会長 寺田博昌